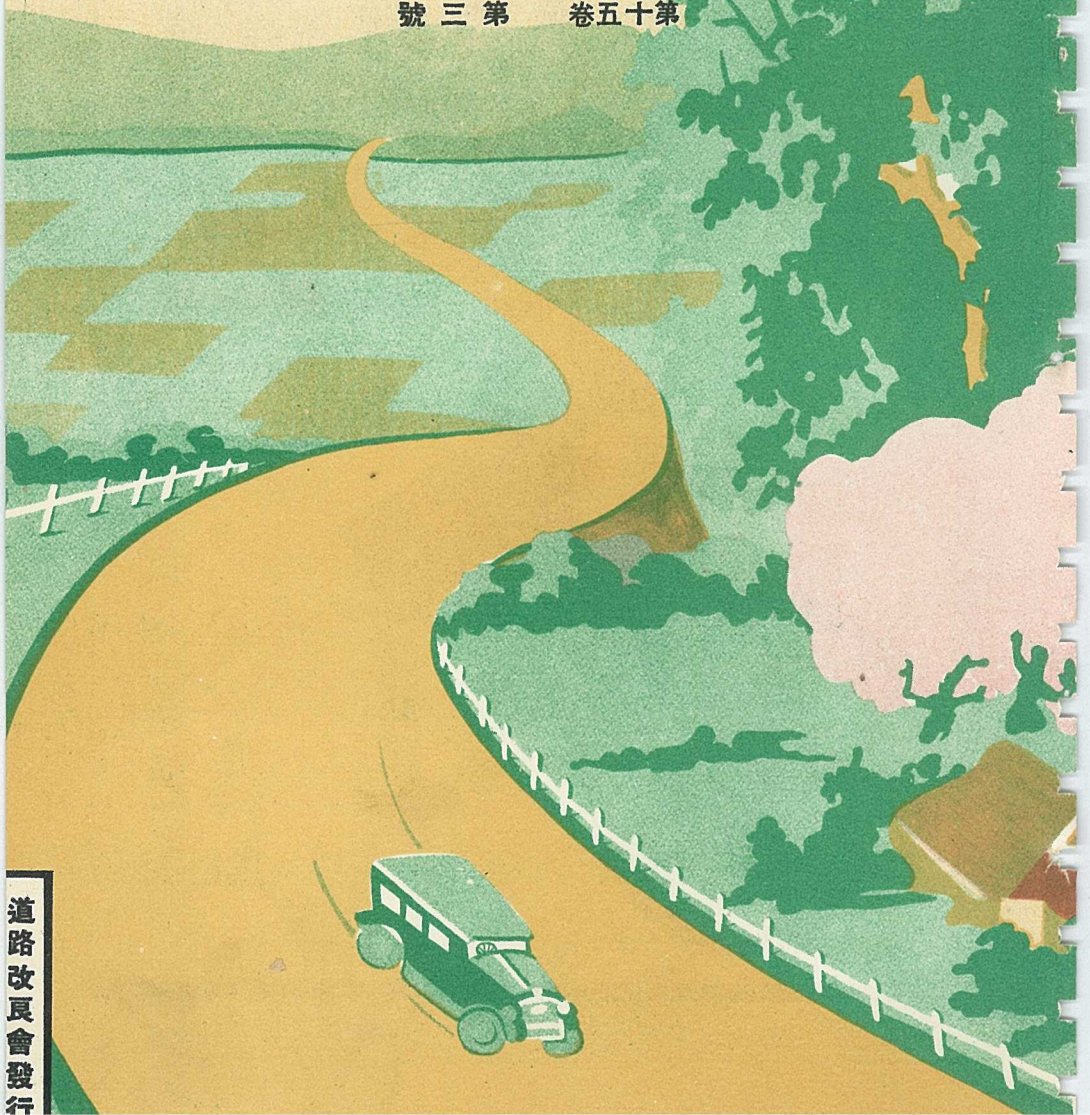


昭和八年三月二日（毎月）（一）日發

# 道路の改良

禁轉載

第三號 第五十卷



道路改良會發行

# ワークリユチピトイナレーク舗装

道路工事請負  
 アスファルト製造販賣  
 アスファルト乳剤製造販賣



東京麹町区丸の内

日本石油株式会社

道路部

# 道路鋪裝用

專賣特許瀝青乳劑「エマルピア」  
製造販賣並鋪裝工事請負

## 瀝青乳劑「エマルピア」種類

- 透入用 瀝青乳劑「エマルピア」
- 不凍性 瀝青乳劑「エマルピア」
- 急硬性 瀝青乳劑「エマルピア」
- 濃厚 瀝青乳劑「エマルピア」
- 混合用 瀝青乳劑「エマルピア」

## 東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地碌々館

電話 京橋 一、三二五番

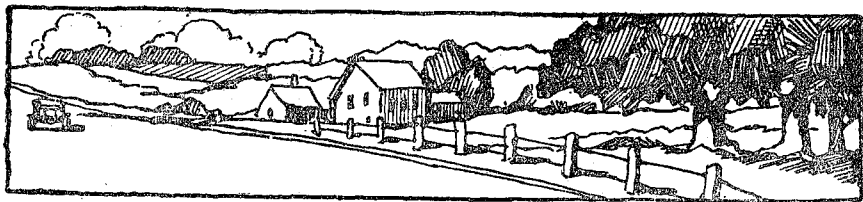
製造工場 横濱市鶴見區菅澤町一九五

電話 鶴見 一、一三一番

## 大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目二、九

電話 京橋自二、一三〇 至二、一四九番



道路の改良 第十五卷 第三號 目次 昭和八年三月一日發行

口繪

阿蘇山ドライブウェイ  
竣功セル且度橋(滋賀縣)

卷頭言

(二)

論說

自動車運送と道路の建設並びに維持

早稻田大學教授 島田孝一(三)

道路の今昔

藤原俊雄(三)

時論

土木會議論

田中好(六)

研究

外人の江戸參府紀行に見たる

經濟學士 和田篤憲(二三)

道路上の觀察若干

水川比路志(四)

技術

道路と電信電話線との關係に就て(一)

内務技師 原口忠次郎(六)

コンクリート鋪裝版の解法(三)

内務技師 西川榮三(四)

瀝青質材料の針度アフラム稠度其他

内務技師 大石義郎(六)

セメントコンクリート

内務技師 青木楠男(七)

道路に關する各國のレポートを讀むて

座談會

構造物の實驗解法(十二)

道路維持座談會(一) (七)



海外道路時事

大形バスの路面衝撃……………内務省土木試験所長 物部長 穂(二五)  
 伊太利鐵筋混凝土規程の改正……………一九三〇年末に於ける世界の鐵道……………スコ  
 ットランド、ドン河の道路橋……………英國カンフォードクリツフ海岸道路の海壁  
 ……露西亞聯邦の産業開發

漫 錄

道草をたべる……………内務技師 池本泰兒(二二)

農村振興土木に現はれた佳話(一)……………路政 僧(三七)

隨 筆

路政縱橫……………丹波浪人(三三)

批評と紹介

北海道に於ける農村振興道路改良事業……………谷口松雄(三七)

寶塚自動車専用道路を視る……………内務技師 江守保平(四四)

隠れた路政の苦心……………田中好(五五)

地 方 通 信

北海道方面……………(一五)

東北方面……………北越方面……………關東方面……………東海方面……………近畿方面……………中國方面……………九州方面

法 令

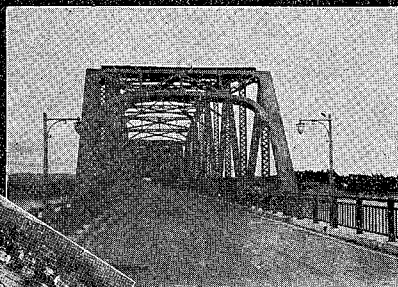
收用審査會裁決取消の訴……………質疑應答……………藤村藤治(二六)

雜 報

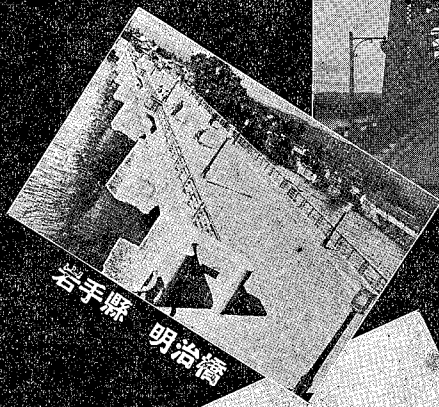
三重直轄國道用地收用補償額に關する訴訟……………國際道路問題調査委員會……………唐澤土木局長  
 の土木史談編纂事業……………(六六)  
 叙任附令……………(六七)  
 編輯室内外……………(七八)

# 日立 アスファルトブロック

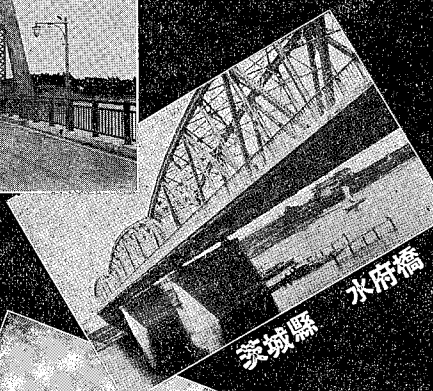
- 過去拾ヶ年ノ實蹟ガ證明スル特許  
鋪裝材ニシテ他ノ追隨ヲ許サズ
- 更ニ特許日立工法ノ完成ニヨリ斯  
界ニ絶對ノ信用ヲ博ス



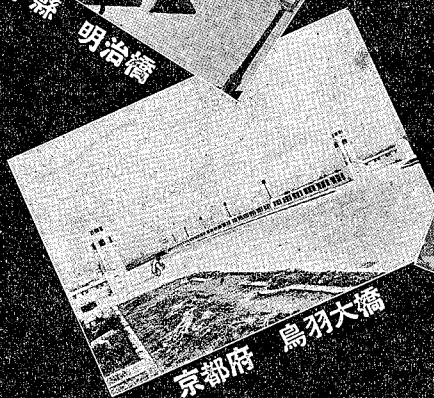
宮城縣  
阿武隈橋



岩手縣  
明治橋



茨城縣  
水府橋



京都府  
鳥羽大橋



東京府  
高砂橋

## 日本鑛業株式會社

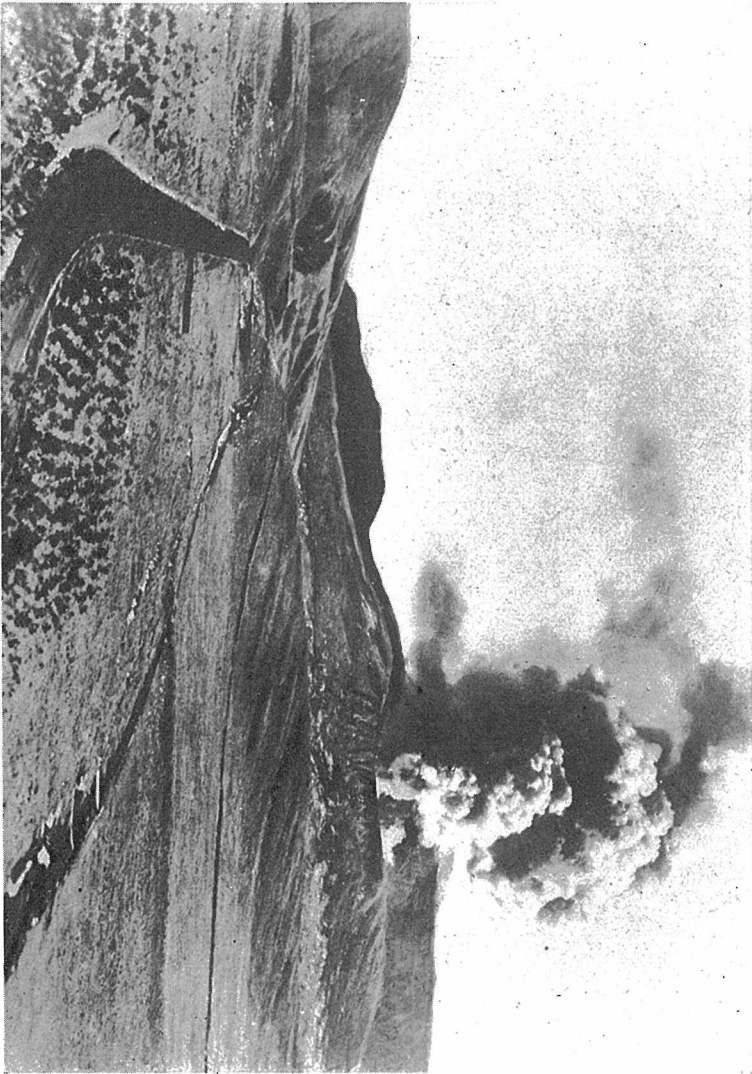
東京丸ノ内

電話丸ノ内 (23) 1241-7

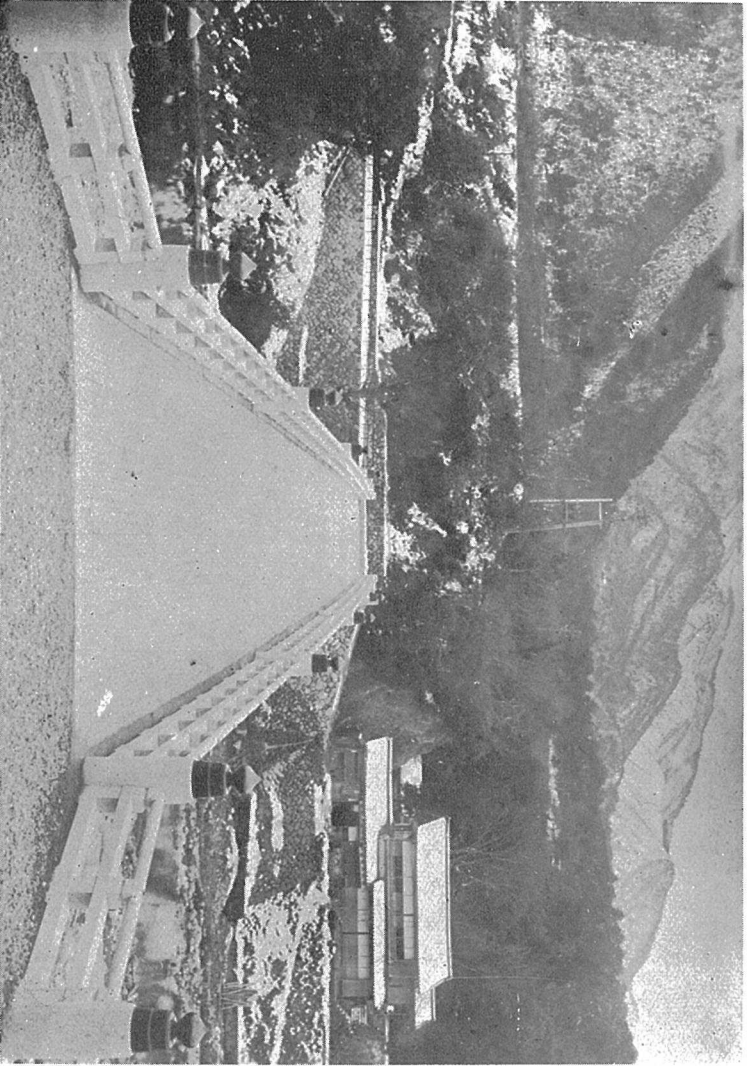
大阪中ノ島

電話本局 260-4

阿蘇山イラズイエ



橋 度 且



**縣賀滋**    **工施設**    線市日四市日八道縣府    **名線路**    會入村野高郡知愛縣賀滋    **置位**    (明説長寫)  
 一間徑三間中    **間支**    米五四・五    **具幅**    米四二・八七    **長橋**    村上山郡崎神  
 (筒井礎基)造トーリ    **脚橋**    裝飾タソコ    **面橋**    米六一・四一    **型橋**    リタソコ    **筋鐵式ーバルグ**  
 期工    共米三七・二七二長道付取餘圍二百七千四萬三    **費工**    (盤岩礎基)造トーリ    **臺橋**  
 日一十三月二十年七和昭功竣    日八十二月三年七和昭手着

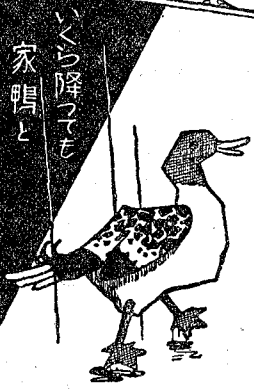
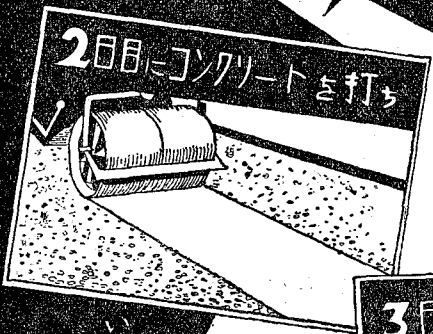


道路工事は

浅野セメント

3日の新道

1日目には  
駱駝と  
コンクリート  
平気です



いくら降っても  
家鴨と  
コンクリート道路は  
天気です

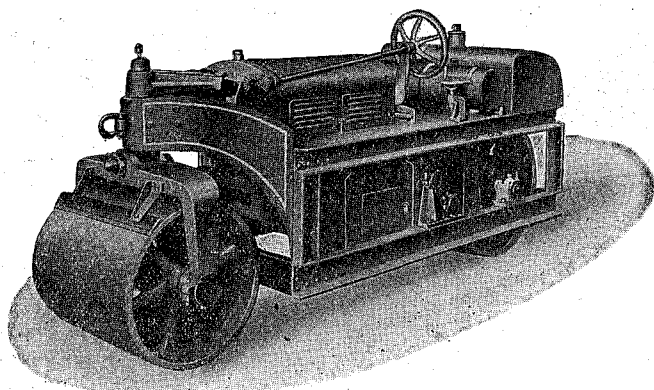
浅野セメント株式会社

國



産

ロードローラー  
エレファント



従來のロード・ローラーは理論上は完全なものでありますが

弊社のロード・ローラー・エレファントは我等多年の道路舗装工事の體驗から従來のものゝ欠點を毎々補ひたる完全な純國産品ですから能率優秀且つ經濟的であります

其他アスファルト舗装用具一式御用命に應じます

株式會社 高野組機械部

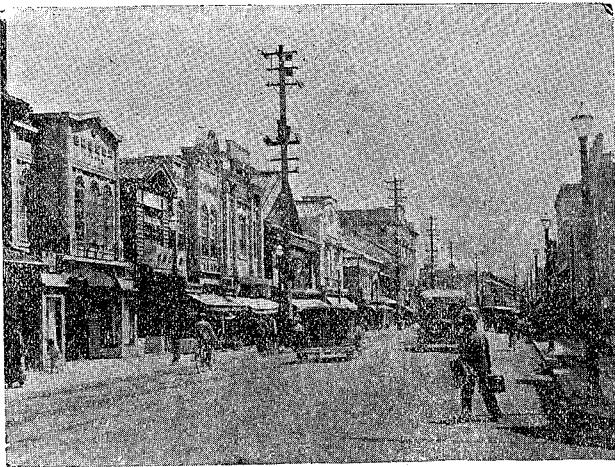
本社 東京市麹町區丸ノ内二ノ二丸ノ内ビルデング六階

電話 丸ノ内 (23) 一九四八

簡易舗装

乳剤界の明星

# EMULAS



宮崎縣宮崎市橋通りエムラス舗装  
昭和七年三月竣功

エムラス

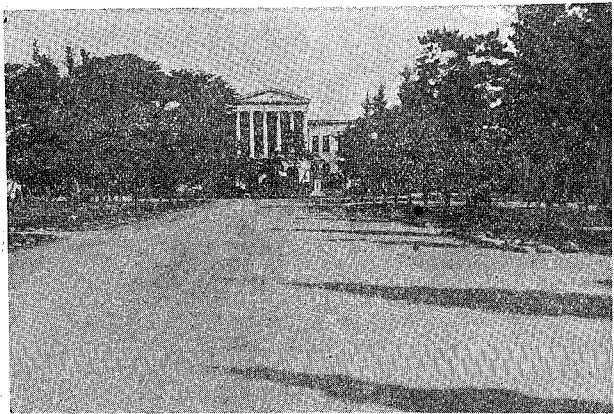
## エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)二六三七番

◎アスカル

特許

◎瀝青乳劑



アスカル舗装セ青山學院正門通り

◎今や浸透撒布式の時代は去れり

簡易混合法施工としての特許アスカルは全世界に

一大「センセイション」を捲き起しつゝあり

東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三

日本アスカル工業會社

電話青山(36)四九七三・八一四八番

營業科目

各種舗装工事請負

舗装材アスカル瀝青乳劑製造販賣

一般土木建築工事請負

國  
産  
品

ト	ツ	チ	デ	リ	ソ	オ	ネ
切	一	品	工	加	土	凝	混
ト	イ	タ	ス	ラ	エ	ニ	ク
劑	乳	ニ	ク	ク	ク	ク	ミ
ト	シ	イ	ベ	フ	ール	ニ	ク
品	工	加	種	各	トル	ア	フ
砂	崗	花	及	石	碎	崗	花

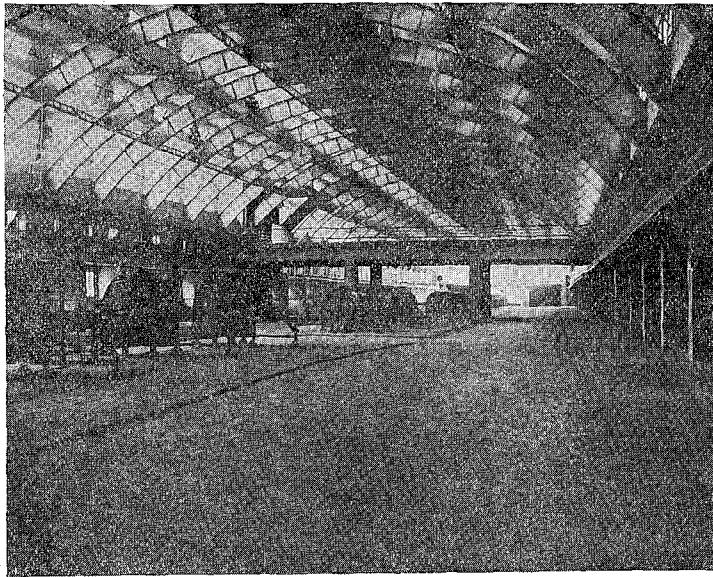
材  
料  
は

業負請事工木土の足自給自

工  
術  
博  
士  
顧  
問

牧  
彦  
七

ミクニ乳劑石鋪装工事請負開始



装鋪膠石トツチデリソ内構場市賣卸市戸神

社會式株トツチデリソ本日

四地番二目丁三橋京區橋京市京東

六六一三至 一六一三自 (56) 橋京話電

内ルビ倉片〇九ノ二濱北區東市阪大 所張出阪大

八四〇三 六四〇三 局本話電

# 道路講演集

菊 判  
五百四十頁  
全壹冊金貳圓  
(送料不要)

## 目次

揆	水野鍊太郎
國產品の使用に就て	橋本圭三郎
土木行政	三邊長治
道路行政	清水良策
都市計畫	兒玉九一
交通整理	藤岡長敏
道路材料	藤井眞透
鋼橋	青木楠男
隧道工事	星野茂樹

鐵筋混凝土	永田年
道路補裝に就て	岩澤忠恭
道路構造	菊池明
道路に對する所感	中川吉造
地震及耐震摘要	物部長穗
アメリカの道路に就て	田部良忠
歐米の道路	藤田周造
對米所感	中川幸太郎
帝都復興事業に就て	牧野雅樂之丞

道 路 改 良 會

路政の指針

路政關係者座右の友

道路行政研究資料

四六倍版百八十頁

定價實費金八拾錢

發行所 社團 法人 道路改良會

材骨アルトアスファルトシート

末粉石水寒

通過 85% 篩 二百

茨城縣多賀郡大甕驛前(常盤線)

旭礦末資料會社 大甕工場

電話久慈濱二三一番

同 下孫 下孫工場

電話河原子四九番

同 東京市外南千住町二丁目八八番地

同 本店

電話淺草四六二五番

製造品目

寒水石粉各種、寒水石粒各種、孔雀砂、銀星砂、黑砂、其他化粧砂各種

◎水戸市に於て嘗て天覽を賜りたる弊社の石粉末は大東京のシートアスファルト鋪装の九〇%を供給したり

◎微粉末の製造はエヤーセパレーションに依て理想化する

# 弊社の舗装

道路の舗装は、道路の衣服なれば路床の強弱と、施工時季の寒暖に依つて舗装の種類を變更せなければ、其舗装は失敗なり。

故に弊社は乳劑舗装と加熱舗装とを兼業致してゐますから多少に拘らず御用命を願ひます。

東	北	神	長	宮	千	埼	靜	青	群	富	山
京	海	奈	野	城	葉	玉	岡	森	馬	山	形
市	道	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
七五、八六六	一一一、三一九	八四、一七六	五三、〇一一	四六、二二八	三九、一〇一	三八、七七一	二六、六五七	二〇、三八二	一六、五九二	一六、二〇八	一三、六〇五

茨	新	東	石	山	宮	海	農	陸	其	合
城	湯	京	鐵	川	梨	崎	軍	林	軍	ノ
縣	縣	局	縣	縣	縣	省	省	省	省	計
一三、一七一	一一、五九二	一一、五六一	九、九六四	五、五二八	五、五二八	五、五一二	六、一三七	三、四〇五	六、八八三	一、三一五
六、二二二	七、八五五	六、二二二	七、八五五	六、二二二	七、八五五	六、二二二	七、八五五	六、二二二	七、八五五	六、二二二

昭和七年十二月現在(大略)

## 日本道路舗装株式會社

舊名(日本ビテニマル)舗装工業株式會社

專務取締役

馬

渡

操

東京市麴町區丸ノ内三丁目十番地  
電話丸ノ内(23)特長  
四九八二番

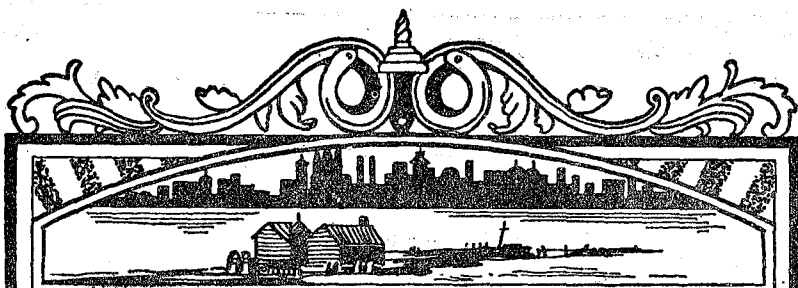


昭和八年

道路の改良

三月一日

第五十卷  
第三號



## 卷 頭 言

第六十四議會は其の會期の半ばを過した、此期間に於て論議された政治問題は果たして現時國民の心裡にある不安、焦燥乃至は動搖の念に對して幾何の緩和劑と爲つたかを想ふとき、現時の政治界が世間に言はるゝ非常時緊張味を持してゐるかを疑はざるを得ない、政府當局にしても組閣當初に聲明した政治財政乃至は經濟の更正に關して如何なる政策を實行せむとして居るのか其の方針さえも判らない状態にある、農村負債整理の問題にしても今頃爲つて出資主體が國家公團體かの議論をしてゐるやうでは、眞に農村を思ふの誠意如何を疑はざるを得ない其の他の重要問題の解決何れも皆此調子である、政民兩黨も亦夫れを追究して政治責任を明かにしやうともしない、議員の權能を行使するに絶好の此機會に於て自重第一主義と云ふが如き好口實を設けて議員の責任を抛擲し、將來國民負擔を増加すべく運命附けられた軍事費濶算を鵜呑にしたるが如きの觀を呈したるは顧みて耻づる所なきか。

憲政の常道を捨てゝまで國家存亡の危急を救ふと言つた現内閣の施政も既に評價された、殘るところは此後に於ける政民兩黨の政治對策であるが、這般の醜態を見せつけられた國民は兩黨に信を置きたくとも置けない、従つて假令憲政の原則に悖るにしても、吾人をして第二次中間内閣の成立を想はざるを得ざらしむる併し夫れを排して憲政の要求する内閣を組織せむとするにあらば、自ら戒飭し殘された會期に於て正しき政黨的行動を國民に示すことに在る、只管に來るべき政權を夢るが如きは、到底國民の容れざるところであつて政黨の自殺である、卿等のため否帝國憲法政治の爲に格段の反省を求めて已まない。